

# 名古屋国道管内自転車安全利用協議会

～国道22号の整備対象区間の概要～



平成27年9月3日（木）

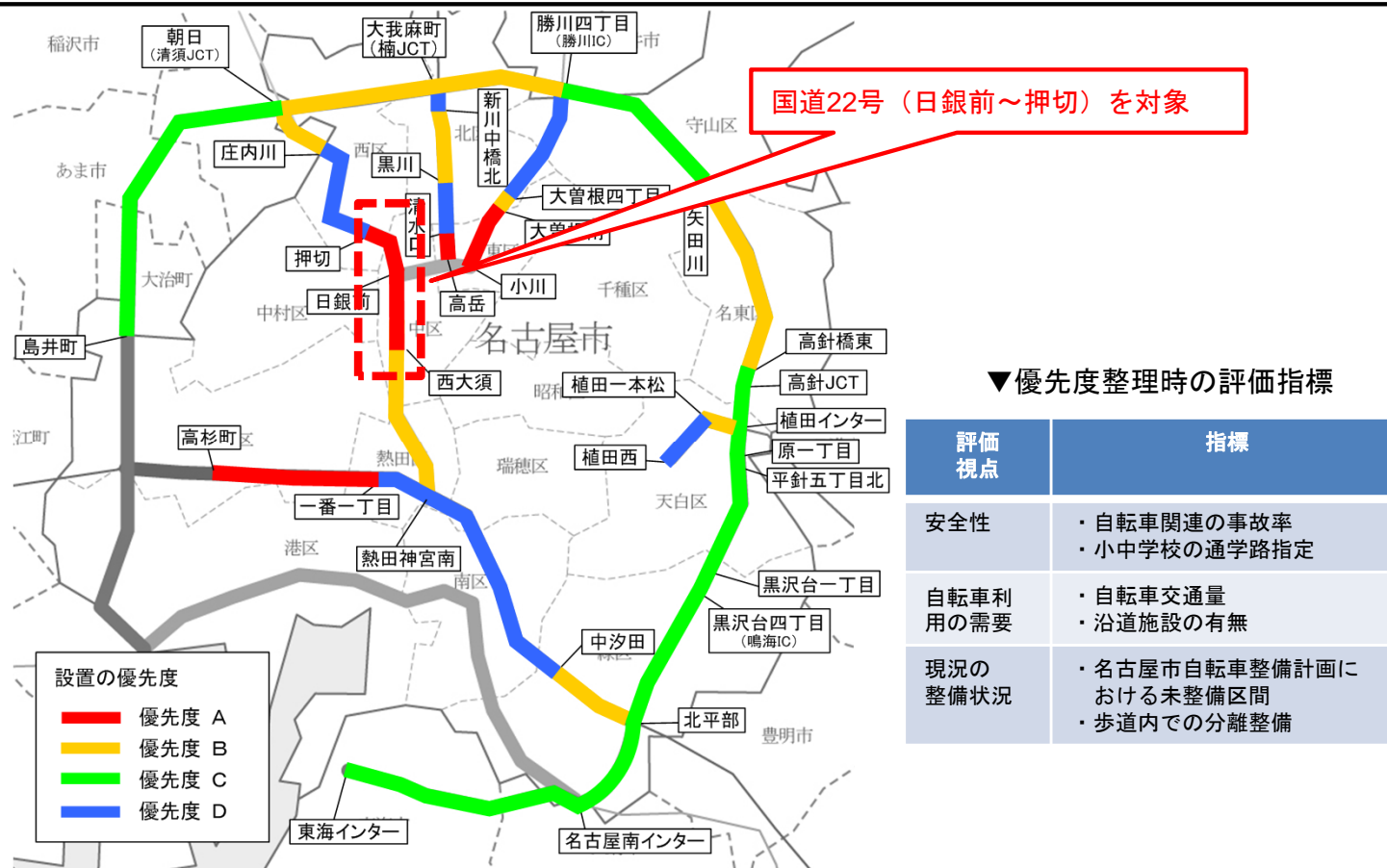
# ～ 目 次 ～

1. 整備対象区間
2. 現地状況
3. 今後の検討方針

# 1. 整備対象区間

●「安全性」、「自転車利用の需要」、「現況の整備状況」の視点から整備優先度を整理した結果、国道22号(日銀前～押切)は、最も優先度高い「優先度A」に該当。

⇒ **国道22号(日銀前～押切)の自転車通行空間整備計画を検討**



## ▲ 自転車通行空間の整備優先度

- 優先度A : 現況の整備状況を踏まえ、安全性の向上が必要であり、自転車利用が多く、最も優先度が高い区間
- 優先度B : 現況の整備状況を踏まえ、安全性の向上が比較的必要であるか、または自転車利用が比較的多い区間
- 優先度C : 現況の整備状況を踏まえ、自転車関連の事故や自転車利用が少なく、優先度が低い区間
- 優先度D : 本線を混在で整備する区間

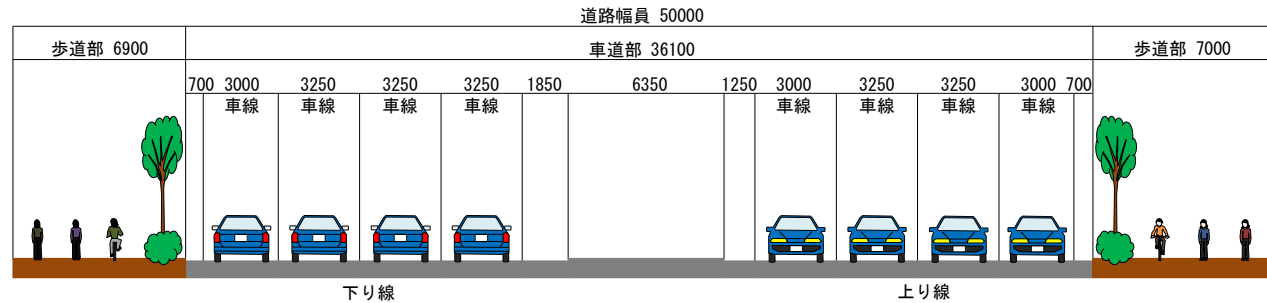
# 2. 現地状況

## 【現地状況】

- 国道22号(日銀前～押切)沿道には、地下鉄駅(丸の内駅、浅間町駅)、企業、丸の内中学校等が立地しており、沿線施設を利用する歩行者・自転車が多い。
- ほとんどの区間で片側4車線を有しており、路肩幅員は1m未満(側溝含む)である。



▲国道22号(日銀前～押切:L=1.8km)



▲現況横断面図(日銀前交差点周辺)



▲現地状況(日銀前交差点周辺)



▲現地状況(三の丸交差点)

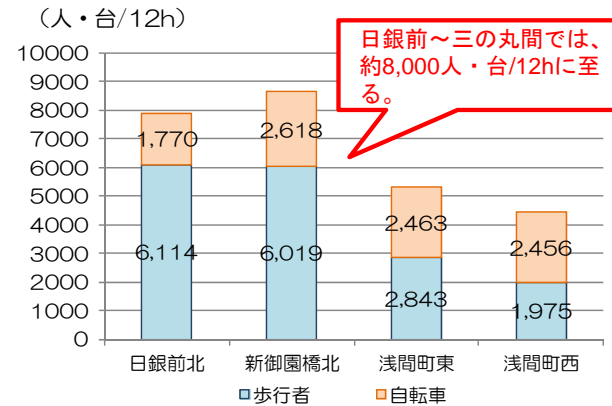
# 2. 現地状況

## 【交通状況】

- 全体的に歩行者・自転車交通量が多く(4,000人・台/12h超)、特に、日銀前～三の丸間においては、約8,000人・台/12hと非常に多い。
- 自動車交通量は30,000台/12hを超える区間が多く、実勢速度は50km/h前後が多い。

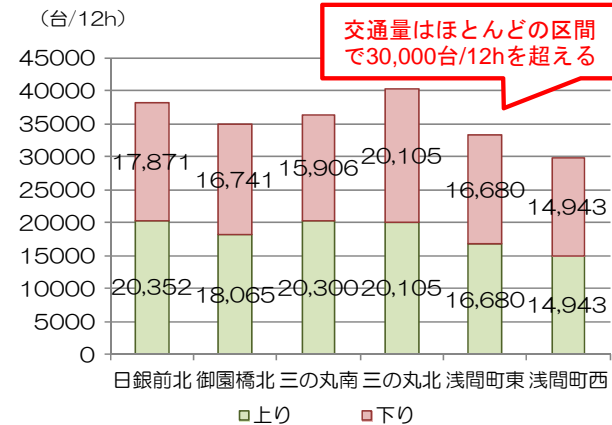


▲国道22号(日銀前～押切:L=1.8km)



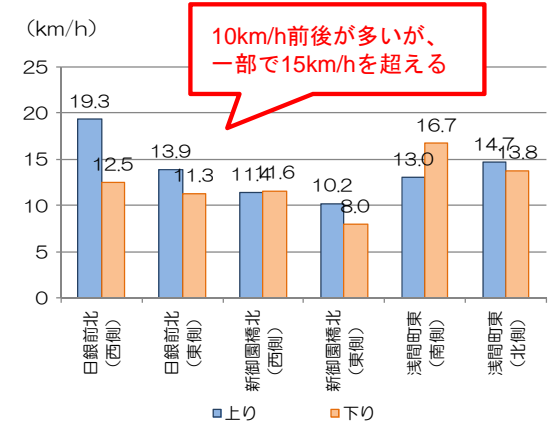
▲歩行者自転車交通量

※調査日:H25. 10. 31(木)



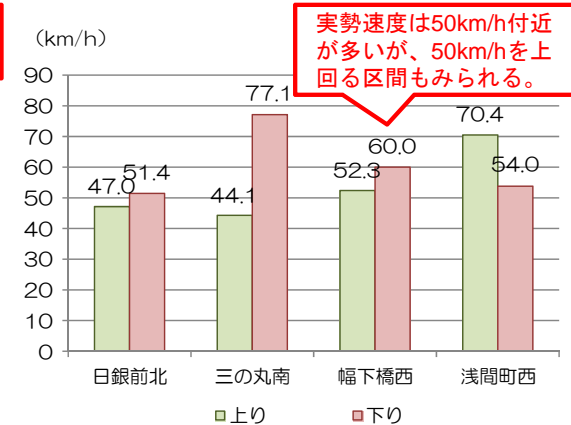
▲自動車交通量

※調査日:H25. 10. 31(木)



▲自転車走行速度

※ビデオ調査により観測(H25.10.31(木) 7:30~9:00)



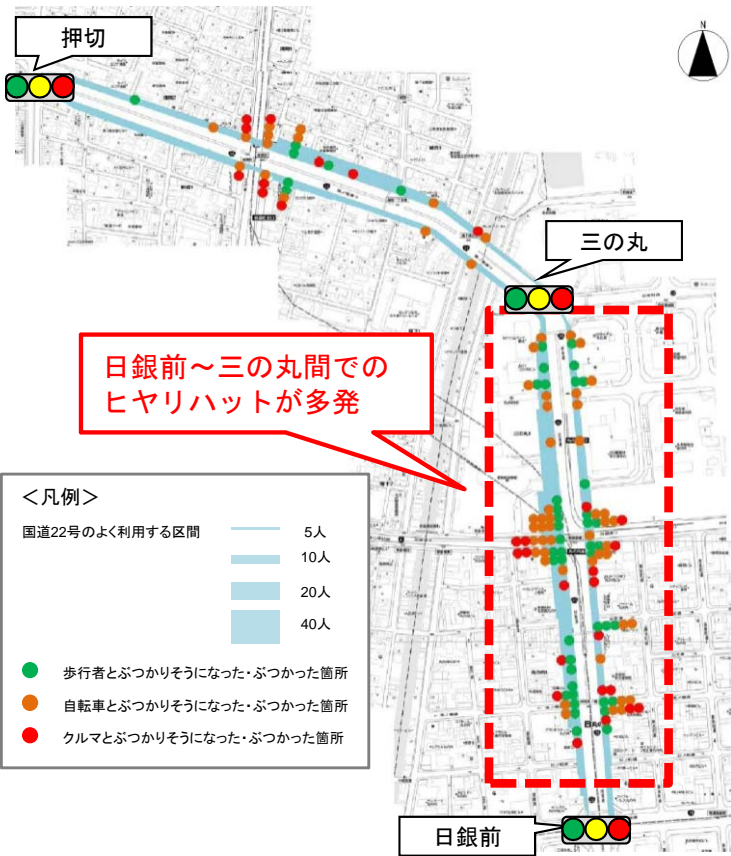
▲自動車実勢速度

※CCTVまたはビデオ調査により観測

# 2. 現地状況

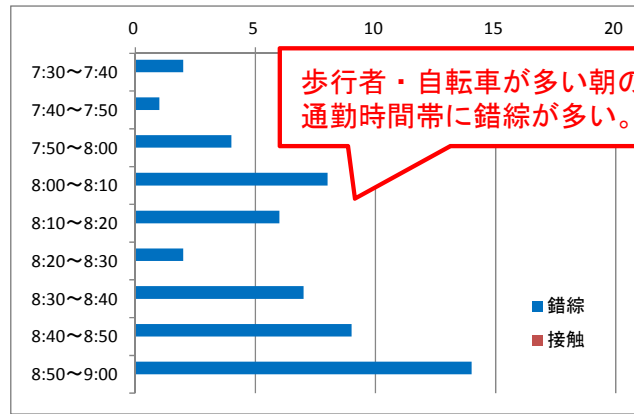
## 【危険事象発生状況】

- 自転車利用者のヒヤリハット、歩行者・自転車の錯綜は、日銀前～三の丸交差点間で多発。
- 自転車事故は、交差点部で多発。



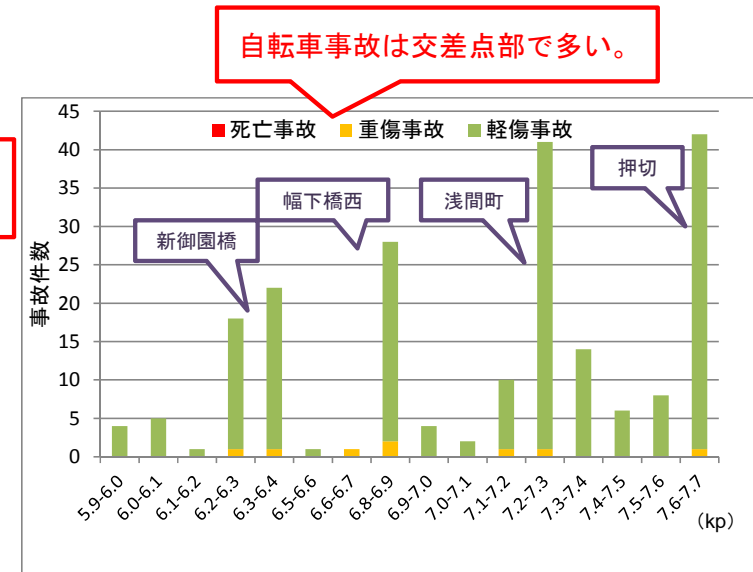
▲利用ルート(自転車)及びヒヤリハット発生地点

※調査方法:聞き取りアンケート調査(H25年度実施)

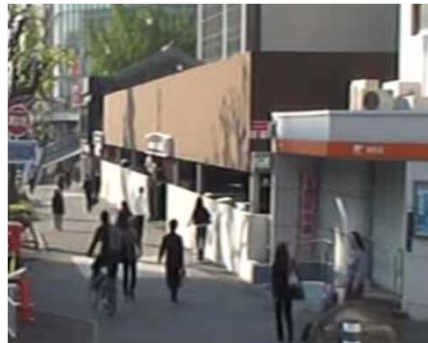


▲歩行者・自転車の錯綜・接触回数(日銀前北)

※調査方法:ビデオ調査により観測(H25.10.31)



▲自転車事故発生状況(H14~H23)



▲日銀前交差点北(西側歩道)



▲三の丸交差点南(西側歩道)



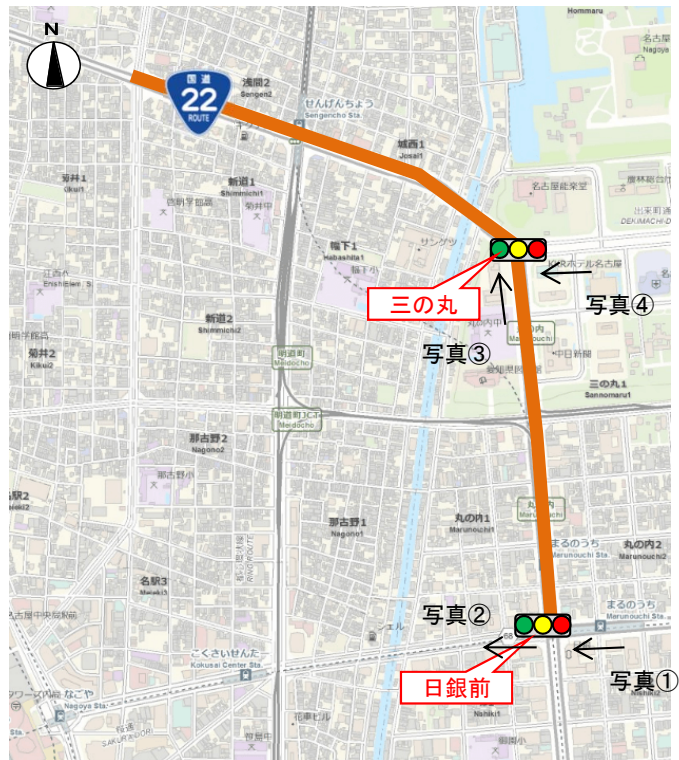
▲三の丸交差点南(東側歩道)

# 3. 今後の検討方針

## ● 交差点部の整備形態検討

- ・ 日銀前交差点：既存の自転車道、自転車歩行者道との接続方法  
東西方向の平面横断方法（副道との接続方法）
- ・ 三の丸交差点：大型三差路交差点の平面横断方法

## ● 単路部の整備形態検討



①日銀前交差点



②日銀前交差点



③三の丸交差点



④三の丸交差点